



報道関係者 各位

平成21年5月30日 16:30
新型インフルエンザ対策推進本部
照会先:メディア班
(電 話) 03(3503)6040
内線(8778、8779、8780)

千葉県における新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)
感染が確定した患者の発生について

5月30日、千葉県より、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)の感染が確定した患者1名(千葉県 01)につきまして、別紙のとおり情報提供がございましたので、お知らせいたします。

これにより、千葉県の累計患者数は1名となりました。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

※ 今回報告した1名を加えて、全国の累計患者数は365名となりました。

県内における新型インフルエンザ患者の発生について

千葉県健康危機対策本部

5月30日12時36分、千葉県内において新型インフルエンザの患者が確認されました。概要は以下のとおりです。

1 発生患者

千葉県佐倉市在住 19歳日本人女性

(患者は、発病1週間前からは、海外渡航歴及び兵庫・大阪方面への旅行は無し。)

2 経緯

- ・患者は、成田国際空港内の飲食店従業員である
- ・5月28日夜に咳・鼻水の症状があり、5月29日朝に発熱(39℃)したため、一般の医療機関を受診。簡易検査の結果がA型陽性。
- ・千葉県衛生研究所においてPCR検査を行ったところ、30日12時36分に新型インフルエンザ(A/H1N1)に感染していることが確認された。

3 現在の患者の状況

千葉県成田市内の感染症指定医療機関に入院中で、熱は、37℃に下がり容態は安定している。

4 患者の周辺状況

- ・佐倉市内にある職員寮で生活。
- ・発症前々日の26日まで当該飲食店で勤務。
- ・27日及び28日は、飲食店に勤務せず、友人と行動を共にしていた。
- ・発症日である28日夜以降は、医療機関を受診した以外は、寮で待機していた。

県内で発生した新型インフルエンザ患者発生に対する 県の方針

本日5月30日、印旛健康福祉センター管内に在住の19歳女性が新型インフルエンザ患者であることが確認されました。

県では現在、以下のような対応を進めています。

- 1 主治医から患者発生届けがあり、県では感染症指定医療機関へ入院勧告を行いました。現在、患者は同医療機関に入院しています。
- 2 患者の発病前からの行動調査を進めていますが、特に、発病日（28日夜）の前日27日から行動を共にした同僚及び同じ寮で生活をしていた者の健康調査を優先して取り組んでいます。
- 3 患者は学生・生徒等ではないことから、学校、保育所、高齢者通所施設などの休業等の措置については、今後、感染の拡大の状況を見て対応することとします。
- 4 また、公立施設の休業要請、イベント・行事等の自粛についても、現時点では要請する段階ではないと考えます。

今後、県では、感染の拡大をできる限り抑制し、県民の健康を守るため、関係機関と連携しながら、全力で取り組んでまいります。

県では、関係部局が連携して対策を講じるとともに、ホームページに最新の情報を随時掲載するなど、情報をできるだけ迅速に提供しますので、県民の皆様には、正確な情報に基づき冷静な対応をお願いいたします。

平成21年5月30日

千葉県健康危機管理対策本部 本部長

千葉県知事 森田 健作